

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

<課題>

台東区立富士小学校

- ・「我が国の言語文化に関する事項」の理解に課題がある。内容として、第一に「話し言葉と書き言葉との違い」「文章の中での語句と語句との関係を理解すること」「文の中における主語と述語との関係に注意すること」「正しい敬語表現」「比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと」等の、「言葉の特徴やきまりに関する事項」が挙げられる。また、第二に「当該学年までに配当されている漢字を正しく書く」、「文字に関する事項」が挙げられる。
- ・「文章を書くこと」に課題がある。内容として「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」「語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと」「指定された長さで文章を書くこと」などが挙げられる。

<特に育成を目指す資質・能力>

- ・文中の語句と語句の関係や主語と述語の関係、敬語の働きや漢字の読み書きなどの言葉に関する理解力。
- ・文章の構成を考えながら工夫して書いたり、感想や自分の考えをまとめたりするなど、主に書くことを中心とした思考力、判断力、表現力等。
- ・自分の考えや感想をもち、主体的に表現しようとする学習態度。

<指導方法・体制の工夫>

- ・朝学習や授業の帯時間を確保したり、日々の宿題を活用したりして、文法や漢字の習熟を繰り返し行う。
- ・授業中に感想や考えを書く学習をできるだけ設定し、教員が認めたり、友達同士で認め合ったりすることで、自分の考えをもちながら学習すること・自分の考えを表現することに自信をもつことができるようにする。また、日常的に書く活動を継続していくことで、書くことへの抵抗をなくし、書くことに慣れるようにする。

1年 <ul style="list-style-type: none">・平仮名、片仮名、2学期から学習の始まる漢字を正しく読み書きでき、拗音・撥音などの拍の違いも正確に理解できるように繰り返し練習し、習熟を目指す。・言いたいことや知らせたいことを、言葉や文を書くことで伝えたいという気持ちを高められるような指導を行う。観察文、日記、吹き出し等を使い、慣れるようにする。	4年 <ul style="list-style-type: none">・小テストを繰り返し行い、漢字や言葉の定着を図る。・自由作文やテーマ作文など、書く内容や分量にも変化を加え、適切な文章を書くことができる力を身に付けることができるようにする。・自分の意見・考えを、根拠をもって表現できるように、根拠を説明する機会を増やしたり、それを基に交流する活動を設定したりして、考えを深めていく。
2年 <ul style="list-style-type: none">・漢字を正しく読んだり書いたりできるように、漢字の意味や字形などを確認しながら学習を進め、繰り返し復習して習熟を図る。・日記や作文を書く課題を定期的に出し、書くことへの抵抗感を減らし、自分の考えを表現したり、構成に気を付けて文章を書いたりする力を身に付けることができるようにする。	5年 <ul style="list-style-type: none">・朝学習、授業、宿題で漢字や意味調べ、言語事項に関する学習に取り組み、より確かな知識の定着を図る。・文章を読み、要約する活動を継続的に行っていく中で、要点を押さえながら指定された長さで文章を書くことができるようにする。・自分の考えを書く活動+交流活動を日常的かつ、各教科でも取り入れ、書く力・書く意欲を高めていく。
3年 <ul style="list-style-type: none">・ドリルやプリント、ミニテストを繰り返し行い、漢字や言葉の定着を図る。再テストも行い、習熟を図る。・書く力を伸ばすために、まず構成メモ等を作成して見通しをもってから書き始め、自分の意見も根拠も交えて書く習慣を身に付けることができるようにする。・言葉や表現に着目し、登場人物の気持ちを考えたり、文章の構成を考えたりすることで文章を読み取る力を身に付けることができるようにする。	6年 <ul style="list-style-type: none">・宿題や朝学習等を活用しながら語彙の獲得や文法の定着をより確かなものにする。・根拠を明確にしながら、自分の意見・考えを書く活動を継続的に行っていく。また、書いた意見をもとに交流する活動を取り入れることで、様々な書き方にふれるとともに、考えを広げたり深めたりできるようにする。・授業や家庭学習でも文章を書く課題を、適宜取り入れていくことで書く力の向上を図る。